

東日本大震災から10年

# 震災を“忘れない、風化させない、その教訓をいかす”



～連合の被災地支援への取組み～

2021年3月11日、東北地方の沿岸地域に甚大な被害をもたらした東日本大震災から10年が経ちました。連合では、震災発生直後から「少しでも早く、一人でも多く、被災された方の力になりたい」との思いから、生保労連を含む構成組織や地方連合会に呼びかけ、救援カンパや被災地への救援ボランティア派遣など、総力をあげてさまざまな活動を実施してきました。震災から10年が経った今、連合が震災当時からこれまでに取り組んできた被災地支援の活動の一部をご紹介します。なお、生保労連も「震災から10年の取組み」として、震災時に生保産業が果たしてきた役割を改めて振り返り、3月にユニオンネット「特別号」を発行しました。その概要を含め、これまでの対応について生保労連ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

生保労連ホームページ  
「東日本大震災への対応」  
はこちらから→



## 被災地に心を寄せ、震災を風化させないために

連合では、震災を経験した子どもたちを元気づけたいという思いから、「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」をスタートし、地方連合会が東北3県の子どもを受け入れ、地元の子どもと一緒に地域の特色を生かしたイベントや職場見学体験を行っています。

また、「被災地の『いま』を伝えるプロジェクト」と題し、震災当時、救援ボランティアに携わった人たちが再び被災地を訪れ、改めて震災と向き合うことをねらいとして復興支援視察団による訪問活動を定期的に行っています。

さらに、震災を「決して忘れない、風化させない、教訓をいかす」との決意を含め、組合員や地域住民を災害から守ることを目的とした「いのちを守る絆フォーラム」を開催しています。

## 被災地と全国を結ぶ“絆”を深めるために

被災地に寄り添い、現地と支援活動の状況を緊密に紹介するため、「東日本復興支援ニュース『つなごろう！絆・連合』」を発行しています。その後、九州地震、大阪北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震など全国でさまざまな災害が発生する中、現在は「被災地復興支援ニュース『つなごろう！絆・連合』」に改め、「被災地と、みんなを結ぶ」をキャッチフレーズに、被災地と全国を結ぶ“絆”を深めていく取組みを進めています。

▶ これまでに63回発行し、支援活動の状況等を伝えている



## 「東日本大震災10年」特設ページと フォトメッセージの取組み

震災から10年の取組みとして、震災を風化させず、過去の教訓を活かして今後の防災対策についても考える機会とすることを目的に、組織や個人による参加型の取組みとして「フォトメッセージ」を募集し、連合に集う仲間からの想いを特設ページに掲載しています。生保労連でもその趣旨に賛同の上、各組合にもお声がけしながら取組みを進めています。



▲生保労連会議（WEB）時、  
フォトメッセージ撮影を実施

以上、一部ではありますが、連合の被災地支援の活動をご紹介します。今回紹介しきれなかったその他の取組みは、連合「東日本大震災10年」特設ページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

